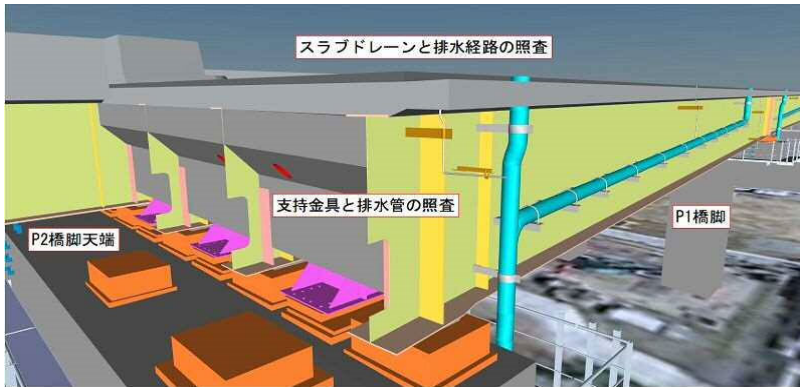
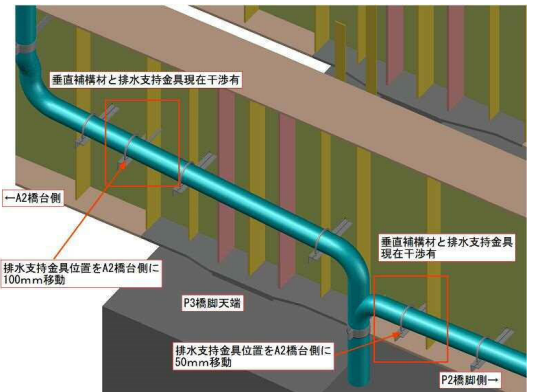


### 実施内容

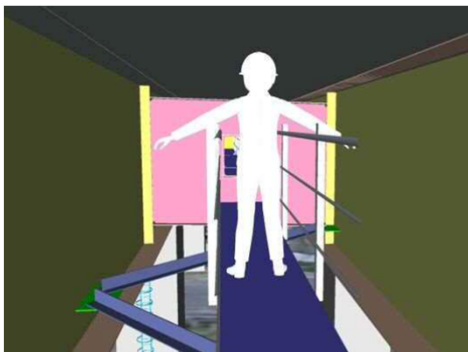
- 本工事は桁支点部に付属品関係が密集しているが、発注図は各付属物が別図になっており、各構造物同士の隔離等の確認が困難である。相互の位置関係を泊するため BIM/CIMモデルを作成した。
- BIM/CIMソフトウェアのウォークスルー機能を活用し、支点部の狭隘空間等において点検導線が確保されているか確認した。



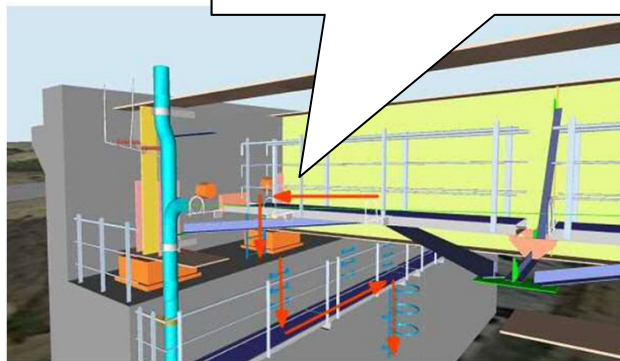
排水経路の確認とスラブドレーンおよび支持金具の干渉照査  
→干渉がないことを確認



垂直補構材と排水支持金具干渉と修正



点検導線の確認



維持管理点検ルート確認

点検ルートに問題ないことを確認  
(上部工検査路からはしごを使用して橋座面に移動し、橋座面から下部工検査路を経由して地上面に降りる)

### 効果

- 2次元図面では別々の図面から干渉確認を行うが、モデル化することにより構造物の取り付け位置が明確になり、桁本体と付属品を容易に干渉確認を行うことができた。
- 下部工はしごは一般的に製作時は現地地盤が未定であることから、製作漏れが発生しやすい部材であるが、モデル化することにより工場製作漏れを防止することができた。
- 部材が密集している支点周りに点検スペースが十分に確保できているかなど、点検ルートの妥当性を確認することができた。

### 事業情報

事業名	平成30年度 中部縦貫高山IC 橋下り鋼上部工事
発注者	中部地方整備局 高山国道事務所
受注者	J F E エンジニアリング株式会社
工種	橋梁
使用ソフトウェア	AutoCAD
モデル詳細度	300~400：構造物モデル